

例会プログラム

開会点鐘/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」唱和/「ロータリーの目的」朗読/お客様紹介/会長の時間/ゲスト卓話/誕生日祝福/幹事報告/各委員会報告/出席報告/スマイルボックス報告/閉会点鐘

会長の時間

【陳倪嬌様 船引RC 吉田様 関根様 ありがとうございます！】

本日は、チンさんの母国・中国と、私たちの日本の「つながり」についてお話しします。食文化ではラーメンは日本では国民食ですが、もとは中国から伝わった「中華そば」。餃子は中国では「水餃子」が主流。日本では「焼き餃子」が当たり前。どちらの国にも共通しているのは「家族や仲間と食卓を囲む時間を大切にすること」です。生活では中国では「春節」、日本では「お正月」。どちらも、家族や親しい人と過ごす大切な時間です。文化の違いを知ることで、相手をより深く理解できる気がします。中国ドラマは登場人物が多く、愛や国、正義を背負って戦う壮大な物語。一方、日本のドラマは約10話ほど。短い中に、登場人物の心の機微や人間関係の変化を丁寧に描きます。どちらも、最後に心を動かすのは“思いやり”や“信頼”、そして“愛”。それは、私たちロータリーが大切にしている「奉仕の心」に通じています。スポーツの分野では、「卓球」。かつて「ピンポン外交」と呼ばれ、日中両国の架け橋となりました。互いを尊重しながら一つの目的に向かって進む。それは、まさに「奉仕を通じた友情」そのものです。



ロータリーのモットーである「超我の奉仕」は、まさにこの“国や文化を越えて理解し合う”という精神を象徴しています。米山記念奨学事業も、その実践のひとつです。チンさんのような留学生が日本で学び、地域や世界のために力を発揮してください。それはロータリーの理念が生きている証です。食文化も、習慣も、ドラマも、スポーツも。どれも違いはありますが、共通しているのは「人を大切にする心」。この“心のつながり”こそが、世界を平和に導く力になるのだと思います。最後に一つ、言葉の話を。中国語の「朋友(ポンヨウ)」、日本語の「友達」。どちらも、“共に歩む仲間”を意味します。文化や国は違っても、友情の本質は同じ。互いを尊重し、学び合い、助け合うそれが人と人を結ぶ「絆」です。チンさん、今日は私たちとともに、穏やかで温かい時間をお過ごしいただければ幸いです。

ゲスト卓話:米山奨学生 船引RC所属 陳倪嬌様

私は2001年生まれの24歳、陳倪嬌と申します。出身は四川・広東でパンダがいるところです。食べ物は主に辛いものが多いです。またお茶が好きな人が多く、沢山の種類のお茶がある事で有名です。次のイベントでも留学生達が料理をするので、私は麻婆豆腐を作る予定です。機会があれば、ぜひ試食してください。

私が住んでいた広東地方は海沿いにあるとても綺麗な町です。おすすめは世界最長の海上の橋、港珠澳大橋です。珠海大劇場はホタテの形で、夜はライトアップされとても綺麗です。世界最大のアクリルパネル水槽がある遊園地、長隆海洋大国もおすすめします。現在はロータリークラブでとても皆さんに優しくして頂いています。今後の予定と将来の目標は、現在内定が決まっている三井住友建設に来年から働く予定です。建築技術者として活躍できるよう、頑張りたいと思っています。また、今度は自分がロータリーをつないでいけるようになりたいと思います。



誕生祝福:

酒井 善盛
パスタガバナー



Happy Birthday



ロータリー財団 合計 ¥1,000 累計 ¥55,000

米山奨学金 合計 ¥2,000 累計 ¥40,000

スマイルボックス 合計 ¥6,000 累計 ¥64,000

岡田義則 船引RCの皆様ようこそ南相馬へ
酒井善盛 誕生祝ありがとうございます
青木謙二 陳さん卓話ありがとうございます。
野地庄蔵 陳さんありがとうございます
大谷和年 陳倪嬌さん卓話ありがとうございます
青田真 陳様、今日は貴重な卓話ありがとうございます。
吉田様、関様遠方よりありがとうございます